2023年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年５月11日

上場会社名　共同ピーアール株式会社　上場取引所　東
コード番号　2436　ＵＲＬ　https://www.kyodo-pr.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役　（氏名）谷　鉄也
問合せ先責任者　（役職名）取締役コーポレート本部本部長　（氏名）信澤　勝之　ＴＥＬ　03-6260-4850
四半期報告書提出予定日　2023年５月11日
配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2023年12月期第１四半期の連結業績（2023年１月１日～2023年３月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第１四半期	1,648	52.4	267	13.2	265	8.3	144	△6.0
2022年12月期第１四半期	1,081	－	235	69.4	244	66.2	153	49.3

（注）包括利益　2023年12月期第１四半期　169百万円（0.4％）　2022年12月期第１四半期　169百万円（58.7％）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第１四半期	16.77	16.48
2022年12月期第１四半期	18.68	18.38

（注）１．「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年３月31日）等を前連結会計年度の期首から適用しているため、2022年12月期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっており、売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
２．当社は、2022年11月１日付で普通株式１株につき普通株式２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第１四半期	4,785	2,842	53.5
2022年12月期	5,008	2,777	50.4

（参考）自己資本　2023年12月期第１四半期　2,560百万円　2022年12月期　2,524百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	－	0.00	－	8.00	8.00
2023年12月期	－				
2023年12月期（予想）		0.00	－	9.00	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2023年12月期の連結業績予想（2023年１月１日～2023年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	3,200	44.9	400	△6.9	400	△11.0	231	△31.3	27.14
通期	6,300	19.7	770	6.9	770	4.6	455	△12.6	53.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期１Ｑ	8,746,992株	2022年12月期	8,742,192株
②　期末自己株式数	2023年12月期１Ｑ	157,114株	2022年12月期	76,414株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期１Ｑ	8,615,138株	2022年12月期１Ｑ	8,227,880株

※当社は、2022年11月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報」の「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（追加情報） …… 8
（セグメント情報） …… 8
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間(2023年１月１日～2023年３月31日)における日本国内の経済環境は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限が緩和され、社会活動の正常化に向けた動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の影響による資源・エネルギー及び原材料価格の高騰、世界的な金融引締めなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは世界的なＰＲネットワークである「ＧｌｏｂａｌＣｏｍ　ＰＲ　Ｎｅｔｗｏｒｋ」の国際会議を日本に初誘致することが決定し、今秋、東京に各国のＰＲコンサルタントを集めて開催することを契機に、ＰＲ事業分野の深耕を図るため、既存顧客のみならず新規顧客の開拓を含め、積極的な提案活動を実施してきました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間の連結売上高は1,648百万円（前年同期比52.4％増）、営業利益267百万円（前年同期比13.2％増）、経常利益265百万円（前年同期比8.3％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益144百万円（前年同期比6.0％減）となりました。

各セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、前第２四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントを、「ＰＲ事業」、「インフルエンサーマーケティング事業」、「ＡＩ・ビッグデータソリューション事業」に変更しております。これは、2022年６月より株式会社キーウォーカーを子会社化したことによるサービス事業の展開に伴い、事業実態に即して報告セグメントを変更したものです。そのため、「③ＡＩ・ビッグデータソリューション事業」については、前第１四半期累計期間と比較しての増減額および前年同期比（％）を記載せずに説明しております。

①ＰＲ事業

「ＧｌｏｂａｌＣｏｍ　ＰＲ　Ｎｅｔｗｏｒｋ」の国際会議を日本に初誘致することが決定し、ＰＲ業界の機運が高まっていることを背景に、新規リテイナー契約の獲得及び既存・新規顧客からのオプショナル＆スポット案件の獲得に注力した結果、昨年から引き続き国内外のＩＴ・情報通信・テクノロジー関連や専門サービス、フードビジネス・食品関連や電気・機械・その他製造クライアント、官公庁・自治体・各種団体などからのリテイナー契約を受注しました。オプショナル＆スポット案件については、国内の商業施設・レジャー関連クライアント、官公庁・地方自治体・各種団体、フードビジネス・食品関連クライアントの案件を獲得、ペイドパブリシティ案件においても、国内官公庁・地方自治体・各種団体の大型案件を複数受託しました。

この結果、ＰＲ事業における当第１四半期連結累計期間の売上高は1,278百万円（前年同期比35.8％増）、営業利益248百万円（同4.5％増）となりました。

②インフルエンサーマーケティング事業

専属タレント「星乃夢奈」のブランドイメージモデル契約、海外観光広告、アイドルユニットプロモーションなどの新規受注を獲得いたしました。自社タレント・メディアにおいても躍進が見られ、専属タレント「さくら」のＴｉｋＴｏｋ登録者が200万人の大台を突破し、支持を拡大している他、当社メディアでは学生の卒業シーズン、長期休暇に合わせたオーディション企画が大きく再生回数を伸ばし、アドセンス収益が増加しました。また、当社ＩＰを新たに生かした企画として、コンビニエンスストアのサービスを使った人気タレントのサムネイル販売が始まり、継続性のある収益モデルとして運用が続いております。

この結果、インフルエンサーマーケティング事業における当第１四半期連結累計期間の売上高は173百万円（前年同期比24.0％増）、営業利益9百万円（同9.8％減）となりました。

③ＡＩ・ビッグデータソリューション事業

Ｗｅｂデータ抽出サービス「ＳｈｔｏｃｋＤａｔａ」、Ｗｅｂモニタリング自動化ツール「ＣＥＲＶＮ」をはじめとする、Ｗｅｂデータ収集によるサブスクリプション収入が安定的に推移した他、「Ｔａｂｌｅａｕ」を用いたデータ分析案件が大幅に伸びました。

この結果、ＡＩ・ビッグデータソリューション事業における当第１四半期連結累計期間の売上高は196百万円、営業利益41百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資　産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は3,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ200百万円減少（前期末比5.4%減）となりました。これは主に、現金及び預金が205百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少（前期末比1.7%減）となりました。これは主に、投資有価証券が14百万円、敷金及び保証金が19百万円増加した一方、無形固定資産が35百万円、繰延税金資産が18百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円減少（前年同期比4.4%減）いたしました。

（負　債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は1,265百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円減少（前期末比13.8%減）いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が20百万円増加した一方、１年内返済予定の長期借入金が20百万円、未払金が53百万円、未払法人税等が94百万円、賞与引当金が16百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は677百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少（前期末比11.1%減）いたしました。これは主に、長期借入金が60百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,943百万円となり、前連結会計年度末に比べ287百万円減少（前期末比12.9%減）いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は2,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加（前期末比2.3%増）いたしました。これは主に、自己株式の取得49百万円があったほか、利益剰余金が75百万円増加、新株予約権が12百万円、非支配株主持分が15百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.5%（前連結会計年度末は50.4%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想について、2023年２月13日に公表した「2022年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2022年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2023年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,318,168	2,112,703
受取手形	28,902	7,971
売掛金	1,133,852	1,190,354
契約資産	16,720	27,149
未成業務支出金	127,926	92,778
その他	67,467	61,330
貸倒引当金	△11,327	△10,764
流動資産合計	3,681,711	3,481,523
固定資産		
有形固定資産	146,440	149,661
無形固定資産		
のれん	620,769	588,660
その他	83,110	79,755
無形固定資産合計	703,879	668,415
投資その他の資産		
投資有価証券	149,501	164,372
関係会社株式	23,795	20,278
破産更生債権等	67,286	66,985
敷金及び保証金	179,825	199,384
繰延税金資産	45,946	27,051
退職給付に係る資産	67,242	73,658
その他	9,939	1,402
貸倒引当金	△67,286	△66,985
投資その他の資産合計	476,252	486,147
固定資産	1,326,572	1,304,224
資産合計	5,008,284	4,785,748
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	340,166	360,335
短期借入金	50,000	50,000
１年内返済予定の長期借入金	250,177	229,805
未払金	177,778	124,029
未払法人税等	183,961	89,877
賞与引当金	106,304	90,006
その他	360,179	321,901
流動負債合計	1,468,566	1,265,954
固定負債		
長期借入金	666,618	606,602
退職給付に係る負債	13,149	11,993
役員退職慰労引当金	34,783	2,333
その他	47,628	56,822
固定負債合計	762,179	677,752
負債合計	2,230,746	1,943,707

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2022年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2023年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,455	543,859
資本剰余金	534,334	534,737
利益剰余金	1,456,410	1,531,562
自己株式	△49,694	△99,525
株主資本合計	2,484,506	2,510,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,008	44,671
退職給付に係る調整累計額	4,735	4,940
その他の包括利益累計額合計	39,743	49,612
新株予約権	70,906	83,765
非支配株主持分	182,381	198,027
純資産合計	2,777,538	2,842,040
負債純資産合計	5,008,284	4,785,748

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2022年１月１日 至　2022年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年３月31日）
売上高	1,081,600	1,648,684
売上原価	480,472	907,091
売上総利益	601,127	741,592
販売費及び一般管理費	365,189	474,492
営業利益	235,938	267,099
営業外収益		
受取利息	10	13
受取賃貸料	1,987	1,773
為替差益	3,285	－
持分法による投資利益	2,978	－
助成金収入	2,254	－
保険解約返戻金	－	3,132
その他	440	784
営業外収益合計	10,955	5,704
営業外費用		
支払利息	856	1,650
不動産賃貸費用	1,048	1,120
持分法による投資損失	－	3,517
その他	3	1,120
営業外費用合計	1,908	7,408
経常利益	244,985	265,396
特別損失		
固定資産除却損	－	0
特別損失合計	－	0
税金等調整前四半期純利益	244,985	265,396
法人税、住民税及び事業税	68,923	81,504
法人税等調整額	14,898	23,766
法人税等合計	83,822	105,271
四半期純利益	161,163	160,124
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,497	15,646
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,665	144,478

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2022年１月１日 至　2022年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年３月31日）
四半期純利益	161,163	160,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,630	9,663
退職給付に係る調整額	372	205
その他の包括利益合計	8,003	9,869
四半期包括利益	169,166	169,994
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,668	154,347
非支配株主に係る四半期包括利益	7,497	15,646

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年11月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式80,700株の取得を行いました。この結果、当第１四半期連結累計期間において、自己株式が49百万円増加し、当第１四半期連結会計期間末において、自己株式が99百万円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウィルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2022年１月１日　至　2022年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＰＲ事業	インフルエンサーマーケティング事業	ＡＩ・ビッグデータソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	941,498	140,101	－	1,081,600	－	1,081,600
セグメント間の内部売上高又は振替高	450	10,903	－	11,353	△11,353	－
計	941,948	151,004	－	1,092,953	△11,353	1,081,600
セグメント利益	237,656	10,646	－	248,303	△12,364	235,938

（注）１．セグメント利益の調整額△12,364千円には、のれん償却額△8,364千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,000千円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントの変更に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自 2023年１月１日　至 2023年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＰＲ事業	インフルエンサーマーケティング事業	ＡＩ・ビッグデータソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,278,327	173,692	196,663	1,648,684	－	1,648,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	500	1,530	813	2,843	△2,843	－
計	1,278,827	175,222	197,476	1,651,527	△2,843	1,648,684
セグメント利益	248,253	9,608	41,347	299,210	△32,110	267,099

（注）１．セグメント利益の調整額△32,110千円には、のれん償却額△32,108千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△１千円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントの変更に関する事項

前第２四半期連結会計期間より、株式会社キーウォーカーを連結子会社化したことに伴い、セグメント区分について、「ＰＲ事業」、「インフルエンサーマーケティング事業」の２区分から、「ＰＲ事業」、「インフルエンサーマーケティング事業」「ＡＩ・ビッグデータソリューション事業」の３区分へと変更しております。

なお、当第１四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第１四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成したものを開示しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。